

環境経営レポート

2022年度

(対象期間: 2022年7月1日～2023年6月30日)



夢とロマンを興す業

Enjoy through Construction
Sankin



三金興業株式会社

発行日 令和5年9月27日

発行責任者 金子 善弥

はじめに

みちのくの玄関白河市に本社を置き、あと数年で創業百年を迎えます。
総合建設業の大臣許可で、上場企業でも数少ない若い番号です。

この間地域社会・協力会社の方々と共に、建設業を通して顧客である住民の皆さんの生活基盤整備に努め、地域の安全を守ってまいりました。

また会社のあり方として、社会基盤整備としての建設業を広く捉え、地域社会の幸せのために「まちづくり」事業等にも積極的に取り組んでいるところです。

共に働く仲間たちも皆、弊社の仕事にやり甲斐と誇りを持って、チームワークを大事にしながら楽しく、時には厳しく「ものづくり」の現場に従事しております。

そういう中で「ひとづくり」として一人一人が仕事を通して心身共に健康で人間的な成長をしていくのは本当に嬉しいことです。

そのような経営環境をこれからも持続していかなくてはならない中で地球社会の一員である企業として、これまで弊社もSDGsの推進宣言やISO14001（環境）の継続維持取得に努めて参りました。

更なる環境へ貢献し続けられる企業を目指し、今回エコアクション21の取得を環境経営面でのより良い機会と捉え、これからも弊社に関わる全ての人が喜びと幸せを感じられ、社会に「夢とロマン」を与えられるような会社へ、より一層目指してまいります。

2022年5月

三金興業株式会社

代表取締役 金子 芳尚



環境経営方針

基本理念

私たちは、みちのくの玄関白河から社会・お客様に信頼され、次世代に継承出来る地球環境を尊重した安心・安全で高品質の仕事を早期に提供します。

環境経営方針

エコアクション21環境経営システムを構築・運用することにより地域社会の環境に配慮した事業活動を継続して行います。

1. 環境保全に関する法令、同意するその他の要求事項を遵守します
2. 地球温暖化防止、省エネ、省資源、資源循環を促進します
 - ① 電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - ② 水使用量の低減
 - ③ 環境に配慮した建設材料の使用並びに施工方法の選定
 - ④ 事務用品等のグリーン購入の推進
3. 廃棄物の削減に取り組み、環境汚染の予防を促進します
4. 全社員に環境方針を周知徹底し、意識の向上、環境教育を実施します
5. エコアクション21に準拠し、継続的な改善をします

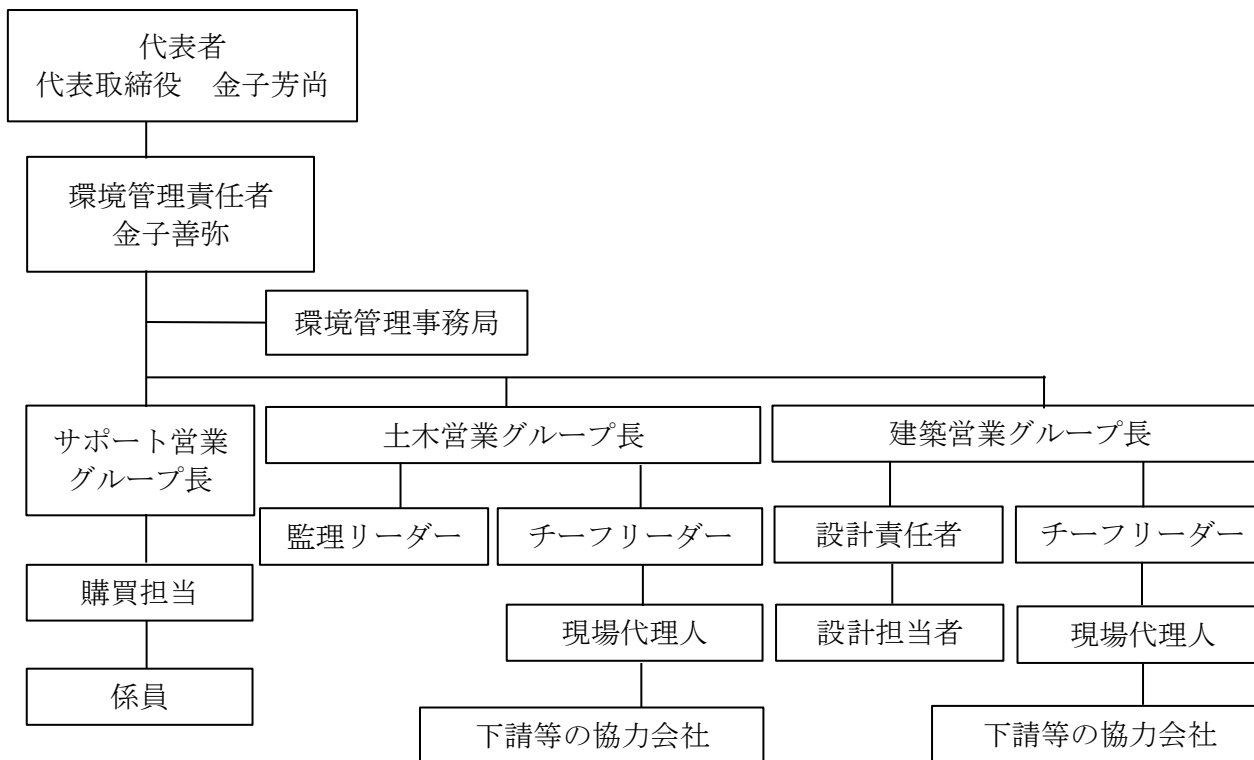
制定日 2022年1月31日
代表取締役 金子 芳尚

会社概要

- ◆ 商 号 三金興業株式会社
- ◆ 本店所在地 福島県白河市新白河一丁目73番地
- ◆ 代 表 代表取締役 金子 芳尚
- ◆ 環境管理責任者 常務取締役 金子 善弥
- ◆ 担当者連絡先 サポート営業部 山内 正之 TEL 0248-27-3211
E-mail yamauchi@sankinkk.co.jp
- ◆ 創 業 大正15年7月5日
- ◆ 創 立 昭和27年3月3日
- ◆ 資 本 金 100百万円
- ◆ 営 業 所 那須営業所（栃木県大田原市紫塚）
お茶の水営業所（東京都千代田区神田小川町）
- ◆ 業 種 特定建設業（許可番号／国土交通大臣許可（特-4）第1493号）
- ◆ 許可年月日 令和4年8月9日（更新）
- ◆ 業 務 内 容 土木工事業 建築工事業 とび・土工・コンクリート工事業
屋根鋼事業 タイル・れんが・ブロック工事業 舗装工事業
ガラス工事業 塗装工事業 防水工事業 内装仕上工事業
建具工事業 解体工事業
- ◆ 売 上 高 1,802百万円（令和3年度）
- ◆ 従 業 員 37人（令和3年度）
- ◆ 各 種 認 定 ISO 14001取得（「土木構造物の施工」「建築物の設計、工事監
理及び施工」）、健康経営優良法人2023（中小規模法人部門）
ふくしま健康経営優良事業所2022、ユースエール認定企業、
働く女性応援中小企業、福島県次世代育成支援企業、
福島県家庭教育応援企業、「仕事生活の調和」推進企業、
健康事業所宣言
- ◆ 事 業 年 度 7月～翌年6月

※ 対象は全社とする。

実施体制



役割・責任・権限	
代表者	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営に関する統括責任 ・環境経営システムの実施及び管理に必要な設備・費用・時間・人を用意 ・環境管理責任者を任命 ・環境経営システム全体の評価と見直しを実施 ・環境方針の策定・見直し及び全従業員への周知 ・実施体制の構築と全従業員への周知 ・課題とチャンスの明確化 ・環境活動レポートの承認
環境管理責任者 及び各グループ長	<ul style="list-style-type: none"> ・環境経営システムの構築・運用 ・環境目標・環境活動実施計画書及び実績書を確認 ・環境活動の取り組み結果を代表者へ報告 ・環境活動レポートの承認確認
環境管理事務局	<ul style="list-style-type: none"> ・環境管理責任者の補佐 ・環境負荷の自己チェック及び環境への取り組みの自己チェックの実施 ・環境関連法規等とりまとめ表の作成、遵守評価の実施 ・環境活動レポートの作成 ・環境関連の外部コミュニケーションの窓口
各現場代理人	<ul style="list-style-type: none"> ・各現場における環境経営システムの実施 ・環境目標及び環境活動計画の実施、その達成状況の報告 ・各現場の問題点の発見・是正・予防処置
全従業員	<ul style="list-style-type: none"> ・環境方針を理解し、環境への取り組みの重要性の自覚 ・環境経営システムへの自主的参加

環境経営目標

No.	環境目標項目	単位	基準年度	2021年度目標		2022年度目標		2023年度目標	
			2020年度実績						
1	電力使用量の削減	kWh	88584.0	-1%	87698.2	-2%	86812.3	-3%	85926.5
1-1	電力使用量の削減 (本社)	kWh	51252.0	-1%	50739.5	-2%	50227.0	-3%	49714.4
1-2	電力使用量の削減 (工事現場)	kWh	37332.0	-1%	36958.7	-2%	36585.4	-3%	36212.0
2	ガソリン使用量の削減	L	47463.6	-1%	46989.0	-2%	46514.3	-3%	46039.7
2-1	ガソリン使用量の削減 (本社)	L	8446.1	-1%	8361.6	-2%	8277.2	-3%	8192.7
2-2	ガソリン使用量の削減 (工事現場)	L	39017.5	-1%	38627.3	-2%	38237.2	-3%	37847.0
3	軽油使用量の削減	L	26461.3	-1%	26196.7	-2%	25932.1	-3%	25667.5
4	灯油使用量の削減	L	5596.0	-1%	5540.0	-2%	5484.1	-3%	5428.1
4-1	灯油使用量の削減 (本社)	L	2022.0	-1%	2001.8	-2%	1981.6	-3%	1961.3
4-2	灯油使用量の削減 (工事現場)	L	3574.0	-1%	3538.3	-2%	3502.5	-3%	3466.8
5	プロパンガス使用量の削減	kg	202.0	-1%	200.0	-2%	198.0	-3%	195.9
5-1	LPG使用量の削減 (本社)	kg	61.3	-1%	60.7	-2%	60.1	-3%	59.5
5-2	LPG使用量の削減 (工事現場)	kg	140.7	-1%	139.3	-2%	137.9	-3%	136.5
6	二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	239698.2	-1%	237301.2	-2%	234904.2	-3%	232507.2
7	一般廃棄物の削減	kg	690.1	-1%	683.2	-2%	676.3	-3%	669.4
8	産業廃棄物の削減	t	3819.6	-1%	3781.4	-2%	3743.2	-3%	3705.0
9	リサイクル率の向上	%	98.9	+0.1%	99.0	+0.2%	99.1	+0.3%	99.2
10	水使用量の低減	m ³	320.0	-1%	316.8	-2%	313.6	-3%	310.4

(産業廃棄物の削減及びリサイクル率は再生資材を使用することにより実現可能な目標としている)

※基準年度実績は2020/7/1～2021/6/30を使用し、目標も7/1～6/30で設定しています。

購入電力会社及び燃料種別	CO ₂ 排出係数 (2020年度)
東北電力 (調整後排出係数)	0.528 (kg-CO ₂ /kWh)
ガソリン	2.32 (kg-CO ₂ /L)
軽油	2.58 (kg-CO ₂ /L)
灯油	2.49 (kg-CO ₂ /L)
LPG	3.00 (kg-CO ₂ /kg)

環境経営計画

No	環境経営目標	環境経営目標の達成手段	スケジュール				実施体制
			春期	夏期	秋期	冬期	
1-1	電力使用量の削減 (本社)	昼休みの消灯、不要な箇所の部分消灯	○	○	○	○	事務所 担当者
		エアコン及び室外機の簡易定期点検 (4回/年)	○	○	○	○	
		室温での空調設定温度の調整 (夏期・冬季)		○		○	
		エアコンフィルターの清掃 (2回/年)	○		○		
1-2	電力使用量の削減 (工事現場)	昼休みの消灯	○	○	○	○	土木営業 グループ長、 建築営業 グループ長
		室温での空調設定温度の調整 (夏期・冬季)		○		○	
2-1	ガソリン使用量の削減 (本社)	エコドライブの励行、適正な空気圧の確保	○	○	○	○	事務所 担当者
2-2	ガソリン使用量の削減 (工事現場)	エコドライブの励行、適正な空気圧の確保	○	○	○	○	土木営業G長、 建築営業G長
3	軽油使用量の削減 (工事現場)	過積載の厳禁、アイドリングストップの励行	○	○	○	○	土木営業G長、 建築営業G長
4-1	灯油使用量の削減 (本社)	ストーブ使用中の室内温度の管理、 休憩・昼食時はストーブの使用を停止				○	事務所 担当者
4-2	灯油使用量の削減 (工事現場)	ストーブ使用中の室内温度の管理				○	土木営業G長、 建築営業G長
5-1	LPG使用量の削減 (本社)	湯沸かし器の温度調整	○	○	○	○	事務所 担当者
5-2	LPG使用量の削減 (工事現場)	ガスバーナーでの加熱箇所の特定、使用時間の短縮	○	○	○	○	土木営業G長、 建築営業G長
6	二酸化炭素排出量	1～9の使用量による増減					
7	一般廃棄物の削減	裏紙・使用済み封筒の再利用	○	○	○	○	事務所 担当者
8	産業廃棄物の削減	混合廃棄物の削減、分別ボックス設置で再資源化 再生資材の使用	○	○	○	○	土木営業G長、 建築営業G長
10	水使用量の低減	本社・構内での適切な使用量	○	○	○	○	事務所 担当者

環境関連法規の遵守状況

当社の事業活動での環境関連法規は以下の通りで2022年度の遵守評価の結果、違反はありませんでした。なお、関係当局より違反等の指摘はありません。

2023年6月末現在

環境関連法規制等	違反・訴訟の有無
廃棄物処理法	無
労働安全衛生法	無
建設リサイクル法	無
容器包装リサイクル法	無
家電リサイクル法	無
大気汚染防止法	無
オフロード法	無
フロン排出抑制法	無
建築基準法	無
騒音規制法	無
振動規制法	無
土壌汚染対策法	無
消防法	無

環境経営目標及び計画の実績・内容・評価と次年度の取組

目的	環境経営目標項目	単位	(2021/7/1～2022/6/30)に対して(2022/7/1～2023/6/30)実績の評価				活動計画内容	取組の評価
			年間目標値	2021年7月～2022年6月実績	2022年7月～2023年6月	前年に対する削減率		
二酸化炭素排出量の削減	電力使用量 (本社) (現場)	kWh	86812.3	73284.0	52086.0	28.9%	昼休みの消灯	○
			50227.0	42100.0	26094.0	38.0%	不要な箇所の部分消灯	○
			36585.4	31184.0	25992.0	16.6%	室温での空調設定温度の調整(夏期・冬季)	○
							エアコン及び室外機の簡易定期点検(4回/年)	○
							エアコンフィルターの清掃(2回/年)	○
							サーキュレーターの併用	○
	ガソリン使用量 (本社) (現場)	L	46514.3	50458.5	45752.4	9.3%	エコドライブの励行	△
			8277.2	10755.2	10679.2	0.7%	適正な空気圧の確保	○
			38237.2	39703.3	35073.2	11.7%	無駄な積荷を減らし車重を軽くする	○
	軽油使用量	L	25932.1	16547.2	8643.4	47.8%	過積載の厳禁	○
						アイドリングストップの励行	○	
灯油使用量 (本社) (現場)	L	5484.1	5347.0	7963.6	-48.9%	ストーブ使用中の室内温度の管理	△	
		1981.6	2039.0	2285.0	-12.1%	休憩・昼食時はストーブを止める	△	
		3502.5	3308.0	5678.6	-71.7%			
LPG使用量 (本社) (現場)	kg	198.0	75.6	32.7	56.8%	本社での使用時間の低減	○	
		60.1	24.5	16.0	34.7%	現場使用時の効率化	○	
		137.9	51.1	16.7	67.3%			
二酸化炭素排出量	kg-CO ₂	234904.2	211990.4	175874.4	17.0%			
取組結果と評価	電気使用量や車両用燃料に伴う二酸化炭素排出量は抑えられたが、灯油の使用量が伸びてしまった。							
次年度方針	現場の電気や灯油、ガソリン等の使用量については工事受注量や時期により増減するため一概には言えないが、各現場担当者が意識を持って削減に注力してもらう。							
リサイクル率の向上	一般廃棄物	kg	676.3	830.4	1156.4	-39.3%	両面印刷の励行	○
							裏紙・使用済み封筒の再利用	△
							紙製品の分別再資源化	△
	産業廃棄物	t	3743.2	5693.9	1986.3	65.1%	混合廃棄物の削減	△
							再資源化のため分別ボックスの設置	○
再資源化率	%	99.1	98.9	96.9		再生資材の使用	○	
取組結果と評価	今回行った工事の集計での産業廃棄物の排出量は改善したが一般廃棄物の排出量が増えてしまった。							
次年度方針	工事の件数や内容によって排出量は変わるが再生資材使用や分別を心がけることにより再資源化率を上げていきたい。							
総排水量の削減	水道使用量	m ³	313.6	394.0	203.0	48.5%	手洗い時の節水	○
							業務での用水は適切な使用量を心がける	○
	取組結果と評価	昨年の漏水修理による改善が大きい、少なからず周知の効果が現れてきたように見える。						
次年度方針	引き続き構内での使用は効率を考えて行い、各自が流しっぱなしの使用は避ける。							
その他社会貢献等	地域貢献活動	国道4号蒲ノ沢交差点付近のクリーンアップ 新白河駅周辺のゴミ拾いボランティア 事務所周辺の歩道の清掃・除雪						
	防災訓練	定期的な避難訓練と安否確認の練習						

※年間目標値は2020年7月1日～2021年6月30日の実績を元に設定しています。

※取組の評価基準 ○：全社で取り組めた △：行動したが実績には表れなかった
×：機能していなかった

主な環境活動の取組

【二酸化炭素排出量の削減】

- ・消費電力の削減



(昼休みの消灯)



(不要な箇所の部分消灯)



(空調選定温度の調整)

【リサイクル率の向上】

- ・一般廃棄物の削減



(裏紙の再利用)

【総排水量の削減】

- ・水道使用量の削減



(手洗い時の節水)

【その他社会貢献等】

- ・地域貢献活動



(国道4号蒲ノ沢交差点付近の
クリーンアップボランティア)



(新白河駅周辺のゴミ拾い
ボランティア)

代表者による全体評価

1. 環境保全に関する法令、同意するその他の要求事項の遵守
 - ・建設業を環境保全の観点から見ると遵守すべき法令等の多さを確認できました。幸いにも社員全員が遵守の意識が高く、前年度から引き続き法令等の違反や訴訟もありませんでした。
 - ・環境経営方針においては取巻く経営環境に応じて適宜、修正と更新を進めて行きます。エコアクション21を意識改革の一つのツールとして社内で共有し、環境への意識を更に向上させ、環境経営を継続して行こうと考えております。

2. 地球温暖化防止、省エネ、省資源、資源循環を促進
 - ①電力及び燃料の使用による二酸化炭素排出量の削減
 - ・今回の評価では電力消費は抑えられましたが、灯油等の燃料消費が伸びてしまいました。
建設業では各現場が稼働しているかどうかで電力や燃料の使用量が大きく変わってきますが、そのなかでも各現場代理人が環境意識を持って運営してもらいたいと考えます。
 - ②水使用量の低減
 - ・事務所内や構内で水使用量の低減に注力したため効果を確認できました。
今回を参考にエコアクション21の取組から節水活動を推進し水資源を大切にしていきます。
 - ③環境に配慮した建設材料の使用、施工方法の選定（ICT施工等）
 - ・使用材料及び施工方法の選定基準をより環境に配慮したものにしていきます。
 - ④事務用品のグリーン購入の推進
 - ・紙類、文具、作業服等をグリーン購入として心がけておりますが、この先は対象分野・品目を増やしていこうと考えております。

3. 廃棄物の削減、環境汚染の予防
 - ・産業廃棄物の排出は抑えられましたが一般廃棄物の量が増えてしまいました。各現場によって廃棄物の量は変わりますので目標に対して排出の削減とはなりません。協力会社と力を合わせてリサイクルを進めていきます。

4. 全社員に環境方針を周知徹底し、意識の向上、環境教育の実施
 - ・地域社会との関わりを大切にし、社員一人一人の行動が環境活動につながるよう教育を実施していきます。